

## 腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

### 1 発生日

発生 令和5年7月6日(木) 速報 令和5年7月7日(金)

### 2 患者数

1名(男、20代)

### 3 概要

#### (1)経過

- 6月19日(月) 患者(岡山市)は、腹痛、嘔吐及び水様便の症状を呈した。
- 7月3日(月) 患者は6月28日に広報連絡した腸管出血性大腸菌感染症患者(女、20代)の夫であるため接触者健診(検便)を実施。
- 7月6日(木) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるペロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

#### (2)その他

- ・患者の症状は消失している。
- ・6月29日に広報連絡した食中毒事件の患者である。

### 4 参考(患者発生状況)

区分	令和5年1月1日から
岡山市	20人
県内(岡山市を除く。)	13人
県内合計	33人

(岡山市の前年同時期の発生状況:4人)

- ◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。
- ◎岡山県は6月23日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

#### 【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 森・山本 直通086-803-1251 内線5751